

(3) 4歳児

4歳児カリキュラム

<発達の様子>

- 身の回りの環境に関心をもち、意欲的に活動し始める。
- 一人より友達と一緒に活動することを好むことが多くなり、人と関わることによる育ちが顕著になってくる。
- 指導者が一人ひとりの思いに寄り添うことで、素直に友達に思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりできるようになり、自分の思いと相手の思いの違いに気付き、感情をコントロールできるようになってくる。
- 異年齢の友達への親しみが増し、5歳児への憧れや年下の友達への思いやりの気持ちをもつようになる。
- 物事への興味関心が高まり、道理や順番等を理解し始める。
- 自分でできることが増え、自分からしようとする姿が多く見られる。

		I期(4・5月)	II期(6・7・8月)	
期のねらい		○新しい環境や友達との生活に慣れ、喜んで登園する ○園所生活に必要なきまりや習慣を身に付ける	○友達や周囲の環境に興味をもって生活する ○自分で好きな遊びを見つける	
子どもの育ち	知	○いろいろな人、物、事等の環境に関心をもち始める ○園所生活の中でいろいろな印や文字に興味をもつ ○並べたり比べたりして、数量や図形に関心をもち	○見たこと、思ったこと、感じたことを表現し、伝える う	
	徳	○新しい環境に慣れ、安心感をもつ ○友達と楽しく生活する中できまりや約束を守る大切さに気付く ○指導者や友達に親しみや信頼感をもつ	○園所生活のリズムを身に付け、自分でできることは自分でする ○ルールのある遊びを楽しむ	
	体	○自分の好きな遊びを見つける ○健康生活に必要な習慣を知り、身に付ける	○水に親しみ、水遊びを楽しむ ○夏の遊びを存分に楽しむ ○雨の日の過ごし方を知り、室内で安全に活動する	
教育的意図をもった働きかけ	知	言語	・指導者や周囲の人の話を聞く大切さを知らせる ・生活の中で必要な言葉や挨拶に気付き、使えるように指導者がモデルとなって示す ・絵本に親しみをもち、イメージを広げて楽しめるように読み聞かせをする	
		思考	・身近な自然に興味をもてるようにする ・物の色や形に気付いたり、興味をもったりすることができるようにする	
		創造	・身近な素材の感触や物の変化の不思議さに気付けるようにする ・表現活動を楽しめるように、音やリズムを感じる機会をつくり、指導者も一緒に楽しむ	
	徳	人と関わる力	・園所生活を安定して送ることができるように寄り添い、環境を整えたり言葉がけをしたりする ・いろいろな友達とのふれあいを楽しめるように交流や活動の機会をつくる ・機会を捉え国旗、国歌に関心がもてるようにする	・友達との遊びが広がるように指導者が仲立ちをする ・挨拶や返事をする気持ちよさを感じられるようにする
		規範意識	・自分で持ち物の始末ができるように励まし、環境を工夫する ・順番に並ぶ、交代して使うなどのきまりを知らせる	・遊具や用具の使い方、片付け方を知らせる ・公共のマナーや交通ルールを守るように、機会を捉えて知らせる
		生命の尊重	・誕生を祝う気持ちを伝える ・草花や小動物の世話ができるようにする	・身近な動植物に触れ、命の大切さに気付くようにする
	体	運動	・戸外の遊びを存分に楽しめるように環境を整える	・水の感触を存分に味わえるようにする
		基本的な生活習慣	・健康な生活リズムが身に付くようにする ・手洗い、うがいの仕方を知らせる	・歯の大切さや歯磨きの仕方を知らせる ・着替えや汗の始末を自分でできるようにする
		健康・安全	・けがや気分が悪くなったときは、自分で指導者に知らせるようにする ・避難訓練等の安全指導を実施し身の守り方を知らせる	・安全に水遊びが楽しめるように約束やきまりを確認し、適時気付くように知らせる
		食育	・楽しく食事ができる雰囲気をつくり、食事の仕方やマナーを知らせる ・野菜の生長に関心をもち、収穫や食する喜びを味わえるようにする	

<家庭との連携>

- ・子どもの様子を具体的に伝え成長を喜び合うとともに、保護者自身が子どもの思いを受け止めたり、共感したりできるような機会をつくり、園所での活動や経験を家庭でも継続できるように支援する。
- ・体を動かして遊ぶこと、自然との関わり等の重要性や、発達に応じたねらい、育ちの姿等、情報を発信する。
- ・保護者や家庭の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮して、家庭の養育力が向上するように適切に支援する。

Ⅲ期 (9・10月)	Ⅳ期 (11・12月)	Ⅴ期 (1・2・3月)
<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろなことに興味や関心をもち、経験を広げる ○戸外で体を存分に動かして遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びの中でイメージを広げ、思ったこと、感じたことをいろいろな方法で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の力を発揮し、気の合う友達と気持ちを合わせて遊ぶ楽しさを味わう ○進級することへの期待をもつ
<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな人、物、事等の環境に関わって遊びを広げる ○人の話に興味をもって聞く ○体験からイメージを広げ、より楽しく自分たちで遊びを変化させていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語的コミュニケーションが活発になる ○季節の変化や行事に興味をもち、遊びに生かしていく ○いろいろな物の美しさや心地よい音を表現しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の意味や面白さに気付き、言葉のやり取りを楽しむ ○イメージを広げ、表現することを楽しむ
○気の合う友達と気持ちを合わせて遊ぶ楽しさを味わう		
<ul style="list-style-type: none"> ○指導者や友達との関わりを深め、一緒に遊ぶ楽しさを味わう ○指導者や友達とルールのある遊びを考えて一緒に楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい運動遊具に興味をもち、運動遊びを楽しむ ○体を動かす遊びで、ルールを考えたり守ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな友達との関わりが広がる ○進級することへの期待をもつ
<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に体を動かす経験を広げる ○ルールや合図を守って活動する 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい運動遊具に興味をもち、運動遊びを楽しむ ○体を動かす遊びで、ルールを考えたり守ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○寒いときでも存分に体を動かして遊ぶ ○継続して運動遊びに取り組む
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話に関心をもって聞くことや言葉で伝え合うことの大切さを知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語の世界を通してイメージを広げて遊ぶことで言葉の感覚を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇遊び等で言葉のやり取り、見立て、役になりきる楽しさを味わう機会をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中に、数量の多少に関心をもつ経験を取り入れ興味もてるようにする ・広がる、集まる、並ぶ、順番等に気付き、分かるように経験できる機会を増やす ・簡単な数の範囲で数えたり対応させたりする遊びを取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な物をつくれるように、身近な素材や自然物を用意する ・表現する楽しさを味わえるように、歌う、動く、楽器を鳴らすなどができる活動を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の変化に関心もてるように身近な自然に親しむ機会をつくる ・絵本や物語のイメージを言葉や動き、制作等で表現する楽しさが味わえるようにする
<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達やクラスの友達と、一緒に活動する楽しさが味わえるように集団で楽しめる遊びを取り入れる ・5歳児への憧れの気持ちが高まるように一緒に遊んだり教えてもらったりする活動を積極的に取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場でのマナーやきまりを守って行動できるように知らせたり、気付かせたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところに気付き、認め合う喜びが味わえるように関わり方を工夫する ・係や当番活動を楽しみながら行えるように工夫する
<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある遊びの楽しさや面白さに気付けるように指導者も遊びに加わり、楽しさを共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の美しさや不思議さに気付かせ、遊びを通して親しみを深め、大切に思う気持ちを育てる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・動植物の生長や生命の大切さに気付けるように指導者も一緒に世話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの目標をもって運動遊びに取り組めるよう励ます 	<ul style="list-style-type: none"> ・体が温まる運動を継続して取り入れる
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びやルールのある遊び、競技等を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温や体調によって衣服を調節する習慣が身に付くように、一人ひとりに応じて知らせる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいを丁寧にすることの大切さを知らせる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・運動用具を大切に扱い、安全に使えるように知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぜ様疾患等の予防に向け、手洗い、うがいを繰り返し指導する ・園所外に出るときの安全や、マナーについての約束を知らせる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の種類や働きを知らせる ・朝食の大切さや友達と一緒に食事をする喜びが味わえるように、視覚教材等を取り入れながら知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスよく好き嫌いなく食べることの大切さを知らせる ・食材や調理等に興味もてるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人の支えを通して、食べ物が自分の健康な体をつくっていることに気付くようにする

<発達の様子>

- 経験したことや感じたこと、考えたことを相手に分かるように話そうとしたり、指導者や友達の思いに関心をもって聞いたりする。
- 遊びを通して考えたり、試したり、工夫したりしたことを自分なりの方法で表現することを楽しむようになる。
- 身近な環境に自分から関わり、「やってみよう」「もっとしたい」という意欲が高まる。

		I 期 (4・5月)	II 期 (6・7・8月)
期のねらい		○いろいろな人、物、事等の環境に関心をもって遊ぶ	
4歳児 ラーニング デザイン 知	言語 (聞く・話す・コミュニケーション・文字等)	<ul style="list-style-type: none"> ・興味や関心をもって話が聞けるように、様々な場面で指導者や周囲の人の話を聞く機会をつくり、共感したり、分かりやすく伝えたりする ・生活や遊びの中で必要な言葉や意味、使い方を繰り返し伝える ・絵本や物語の内容に興味をもてるよう題材を工夫し、読み聞かせる機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の面白さや美しさ、繰り返しの楽しさに気付けるように絵本等の活用の仕方を工夫する ・疑問や困ったことを自分なりの言葉で伝えるように促す
	思考 (数量・図形・空間認識・自然科学等)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者や友達に親しみをもって挨拶を交わす心地よさが感じられるように、状況に応じて手本を見せたり、言葉をかけたりする ・見たこと、感じたこと等を友達と言葉で伝え合うことの楽しさや、喜びが感じられるように指導者が仲立ちをする 事例 26 ・物の名前、絵本や歌詞等の言葉に関心をもてるように環境を工夫する ・生活や遊びの中で、いろいろな表示や文字にも興味や関心をもつように環境を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の特性に興味をもてるように、活動や環境を工夫する ・自分の前後、上下、隣が分かるように、生活の中で気付けるようにする ・身近な小動物や自然に親しんだり興味をもったりできるように遊びに取り入れる 事例 26 事例 27
	創造 (造形・音楽・身体表現等)	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の感触や形、色からイメージを引き出し、興味や関心をもってついたり、使ったりできるような活動を取り入れる ・繰り返し遊ぶ中で、のりやはさみの正しい使い方が身に付くように知らせる ・身近な自然や素材等の感触や物の変化の不思議さ、美しさ等に気付かせる ・音やリズムを感じて、指導者や友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、体を動かしたりなどが楽しめるようにする ・身近な小動物との出会い、ふれあい等の経験を、表現遊びに広げていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や気象の変化に対する、気付きや発見を受け止め、一緒に見たり調べたりする ・友達が表現している様子に気付かせ、模倣したり感じたままに表現したりする楽しさを味わえるようにする

教育的意図をもった働きかけ

<家庭との連携>

- ・子どもが興味や関心を示したことに共感したり、子どもの話に耳を傾けて思いを受け止めたり、一緒に考えたりする大切さを機会を捉えて伝える。
- ・身近な環境との関わりを通して、子どもが気付いたり経験したりしたことをいろいろな方法で具体的に伝え、子どもの育ちを共感できるようにする。

Ⅲ期（9・10月）	Ⅳ期（11・12月）	Ⅴ期（1・2・3月）
○いろいろな人、物、事等の環境に関わって遊びを広げる ○体験からイメージを広げ、より楽しく遊べるように指導者や友達と考えを出し合う	○いろいろな人、物、事等の環境に関わって遊びを継続する ○言葉で気持ちを表現し、伝え合う楽しさを味わう	
<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で人の話に耳を傾け、進んで聞こうとする気持ちができるようにする ・話の内容を理解し、意欲的に活動ができるように、状況に応じて伝え方を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で必要な言葉を場面に応じて使えるようにしていく ・自分が経験したできごとを話す機会をつくり、個々の表現を受け止める ・相手に親しみをもって挨拶をする姿を受け止める ・相手の話に関心をもって聞くことや言葉で伝え合うことの大切さや伝わる喜びが感じられるように言葉のかけ方を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味や面白さに気付けるように一緒に会話を楽しむ雰囲気をはかせる ・絵本や物語の展開に興味をもてるように見せ方や話し方を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語の世界を楽しみイメージを広げて遊べるように活動内容を工夫する ・見立ての面白さ、役になりきってやり取りする楽しさが味わえるように指導者も一緒に活動する 事例 32 ・文字や数字、印に関心をもたせ、意味があることに気付くようにする 		
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の中で、数を数えたり物に対応させたりする経験ができるようにする 事例 30 <ul style="list-style-type: none"> ・形、色、大きさ、重さ、長さ等の違いに気付き、分類したり、比べたりして遊ぶ経験を積み重ねる ・いろいろな物の感触、音、形、色、大きさ等の違いに気付けるように自然物や素材を集めたり、使ったりして遊ぶ機会を増やす ・生活や遊びの中に様々な形があることに気付くよう、分類したり組み合わせたりして遊ぶ経験を積み重ねる ・目的に応じて、自分たちで音楽機材等の操作ができるように使い方を知らせる ・広がる、集まる、並ぶ、順番等が分かるように、経験を通して知らせる ・昨日、今日、明日について、状況に応じた使い方を知らせる <ul style="list-style-type: none"> ・気温や戸外の自然の変化から季節の移り変わりに気付けるように、身近な自然に触れる経験を増やす 		
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な物をつくって遊べるように、身近な素材や自然物等の環境を整える ・のりやはさみが自在に使えるように、遊びの中で繰り返し扱い方を知らせる <ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージに合った素材を選び、見立てたり組み合わせたりしながらつくる楽しさを味わわせる ・友達と一緒に工夫してかいたり、つくったりできるように、環境を整えたり、誘いかけたりし、できた物を使って遊ぶ楽しさに共感する ・つくった物を飾ったり、プレゼントしたりする機会をもち、気持ちを込めてつくことを楽しめるようにする ・美しい声や音等、音楽に触れる経験を積み重ねる ・いろいろな音に触れることを通して、音程や音質の違いを感じられるようにする ・友達と一緒に音楽やリズムに合わせて、歌ったり、踊ったりする楽しさが味わえるようにする ・絵本や物語、歌等からイメージしていることを引き出し、表現して楽しむことにつなげていく <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語から友達とイメージを共有して言葉や動き、制作等で表現する楽しさを味わえるようにする 		

< 発達の様態 >

- 友達や環境に関わり、興味のあることを見つけて取り組もうとする。
- 友達と気持ちを合わせて遊ぶ中で、自分の思ったことや考えたことを表現しながら、関わりを楽しむ。
- 約束やきまりの大切さに気付き、守ろうとする。友達との関わりの中で、不快なことに直面しても少しずつ自分の気持ちを抑えたり、違う思いや考えを認めたりするといった社会生活に必要な基本的な力を身に付けていく。
- 身近な動植物に対する興味や関心をもち、関わる中で生長や変化、生き物には命があることや、命の大切さ等に気付いていく。

		I 期 (4・5月)	II 期 (6・7・8月)
期のねらい		○新しい環境に慣れ、指導者や友達に親しみをもつ	○友達や周囲の環境に興味をもち、関わりを広げる
		○生活に必要な約束やきまりを守り、指導者や友達と楽しく過ごす	
教育的意図をもった働きかけ	人と関わる力 (自立心・思いやりの心 協同性・道徳心等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境の中で安心感がもてるように、指導者や友達と一緒に楽しく過ごせる機会を増やす ・自分の持ち物を片付けることができるように、片付けやすい環境を工夫し、具体的に視覚教材等で手順を示したりする ・友達の存在や思いに気付き、友達と関わる喜びを味わうことができるように活動を工夫する 事例 28 ・生活のいろいろな場面で友達の思いや考えに気付くように共感したり、言葉を添えたりする ・いろいろな友達と触れ合って遊ぶ楽しさを味わえるように活動を工夫する ・好きな遊びを楽しめるように、指導者も遊びに加わり、一人ひとりの子どもを十分に受け止める ・挨拶や返事をする気持ちよさを感じ、進んでできるように言葉をかけて知らせる ・機会を捉えて国旗、国歌に関心がもてるようにする 	
	規範意識 (社会生活の ルールを守る心等)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に遊具で遊ぶ楽しさを経験する中で、物を大切にすることや、身近な遊具や用具等の安全な使い方や片付け方を知らせる ・自らきまりを守ろうとする意欲が育まれるように、集団生活の中で必要なきまりに気付けるようにする ・園所外に出るときの、公共のマナーや交通ルールを話し合い、確認する 	
	生命の尊重 (命の大切さを 感じる心等)	<ul style="list-style-type: none"> ・春から夏の身近な自然に親しんだり、野菜や草花の世話を経験したりする中で、その生長や変化に気付くように環境を整える ・身近な動植物に興味をもち、それらとの関わりを通して、命の大切さに気付くように、見たり、触れたり、世話をしたりするなど、活動や環境を工夫する 事例 27 ・誕生日を祝ってもらったり、友達の誕生日を祝ったりする中で、一人ひとりが大切な存在であることを伝えていく 	

＜家庭との連携＞

- ・生活や遊びの中で、一人ひとりが大事な存在であることが感じられるように受け止め、認めていくことの大切さを伝える。
- ・自分の気持ちを通そうとする思いと、ときには自分の思った通りにいかないという不安や葛藤を経験する時期であるため、大人がこのような気持ちに共感し、思いに寄り添い励ますことで他者の気持ちを理解していくことを伝える。

Ⅲ期（9・10月）	Ⅳ期（11・12月）	Ⅴ期（1・2・3月）
<p>○自分の思いを出しながら、友達との関わりを深め、一緒に遊ぶ楽しさを味わう</p> <p>○友達と思いを伝え合いながら、気持ちを合わせて遊ぶ楽しさを味わう</p> <p>○指導者や友達と、ルールのある遊びを考えて一緒に遊ぶ</p> <p>○進級することへの期待をもち、意欲的に遊びや生活をする</p>		
<p>・ 5歳児への憧れの気持ちをもてるように一緒に遊んだり、教えてもらったりの機会を取り入れる</p> <p>・ 優しさや思いやりが感じられるように、未就園児や高齢者をはじめ地域の人々と触れ合う機会をつくる</p> <p>・ 友達と一緒に活動する楽しさや、心地よさが十分に味わえるように友達との関係づくりを支える 事例 30</p> <p>・ 友達と積極的に関わりながら喜びや楽しさを共感し、互いに認め合えるようにクラスで活動する機会を増やす</p> <p>・ 共通のイメージをもったり、自分の役割を進んで行ったりできるように励まし、友達と楽しさや面白さを共有できるようにする</p> <p>・ 見たこと、感じたこと等を友達と共有し、楽しさを共有できるように見守ったり、仲立ちしたりする</p> <p>・ 自分の気持ちを十分に出したり、相手の気持ちに気付いたりできるように仲立ちをする 事例 33</p> <p>・ 一人ひとりの思いを受け止めることで、友達のよいところにも気付けるように言葉をかける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分とは異なる文化をもった人々の存在を知り、関心をもてるような機会をつくる ・係や当番活動等を通して、人の役に立つことを嬉しく感じられるように、主体的に取り組む姿を認めていく 事例 30 		
<p>・ ルールを守って活動する大切さに気付き、遊びの楽しさを味わえるように、興味や関心に応じた遊びを取り入れ、適時言葉をかけたり見守ったりする</p> <p>・ 友達との関わりを通して主張したり、受け入れたりする気持ちが育つように、指導者が仲立ちとなりながら、友達とルールをつくり、守って遊ぶ経験を積み重ねる 事例 33</p> <p>・ 遊びの中で譲ったり交代したりするなどの関わりを通して、共同の物を大切に使う気持ちをもてるように一人ひとりの思いに寄り添い、言葉をかける</p> <p>・ 安全に遊ぶ必要性を知らせ、自ら気を付けて活動しようとする姿を認めていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の場でのマナーやきまりを知り、守って行動する気持ちをもてるように知らせ方を工夫する 		
<p>・ 秋から冬の自然の変化や美しさや、不思議さを感じ取れるように自然に触れる機会をつくる</p> <p>・ 季節の自然物に親しめるように、木の葉や木の実等を集めたり、遊びに取り入れられたりしていく</p>		<p>・ 冬から春への季節の移り変わりに気付くように、身近な草木の生長や変化を感じ取れるような機会をつくる</p>

<発達の姿>

- 「体のバランスをとる」「移動する」「用具等を操作する」などの基本的な運動能力が向上し、思い通りに体を動かせるようになってくる。
- 自分の好きな遊びを楽しむ中で、次第に友達と一緒に運動することの楽しさを体験し、関わり方や遊び方を工夫して遊ぶようになる。
- 自分のことは自分でできるようになり、健康な生活に必要な習慣や生活リズムが身に付いてくる。
- 体や気持ちをコントロールできるようになり、安全に気を付けて生活できるようになってくる。
- 友達と一緒に楽しく食事をする、育てた野菜を食べるなど食物に関心をもつようになる。

		I 期 (4・5月)	II 期 (6・7・8月)
期のねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の好きな遊びを見つけ、指導者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ ○指導者や友達と一緒に様々な動きを楽しむ ○健康な生活に必要な習慣や生活リズムを身に付ける ○指導者や友達と一緒に食事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○水に親しみ、存分に水遊びを楽しむ ○いろいろな約束やきまりを守り、安全に過ごす
教育的意図をもった働きかけ	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす遊びを存分に楽しめるように、戸外の環境を整えたり、集会等を行ったりする ・いろいろな友達と、体操やリズム遊び等で体を動かし、交流して活動できるように計画する ・様々な動きが楽しめるように、リズムに合わせて歩く、止まる、スキップをするなどの動きを活動に取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・登る、ぶら下がる、跳ぶなど体のバランスや移動する動きを積極的に取り入れる ・砂場や土山で掘る、運ぶ、積み上げる、登る、水を流すなど、用具を操作しながらダイナミックに活動できるように環境を整える ・存分に水の感触を味わいながら、水遊びを楽しめるように環境を整える 事例 29 ・室内でも、安全に留意しながら運動遊具を活用する
	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活リズムが身に付くように、視覚教材等の活用方法を工夫する ・手洗い、うがいの習慣が身に付くように言葉をかけ、指導者も一緒に行う ・園所生活のリズムに慣れ、安心して活動できるように繰り返し励ます 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の大切さを知り、自分で磨けるように促す ・健康な生活に必要な汗の始末、着替え、手洗い、うがい等、体を清潔にすることを知らせる ・「早寝、早起き、朝ごはん」が実践できるように視覚教材を使って知らせる
	健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや気分が悪くなったときは、指導者に知らせることを約束する ・遊具の安全な使い方を知らせる ・安全に活動できるように、園所生活に必要な約束やきまりを知らせる ・いろいろな避難訓練を実施し、命を守る大切さを知らせる ・自分の体の成長に関心をもてるように発育測定のを機会を捉えて知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季を元気に過ごせるよう、こまめに水分補給を行う ・安全に水遊びが楽しめるように、約束やきまりを知らせる 事例 29 ・交通ルールを守る必要性に気付くように、交通安全についての話をしたり、繰り返し確認したり、実際に体験できる機会をつくる ・地域や戸外に出かけ、並んで歩いたり、公共の約束やきまりを守ったりして、安全に歩けるようにする
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知らせるとともに、食べることの喜びや満足感が味わえるように、友達や指導者と一緒に楽しく食事をする雰囲気をつくる ・栽培を通して、植物の生長や収穫する喜びを感じることができるよう機会をつくり、食材に興味や関心をもてるようにする ・正しい箸の持ち方について、見たり、使ったりできる教材を活用して知らせる 	

<家庭との連携>

- ・体を動かして遊ぶことの重要性や発達に応じた動き、調整力等について、情報を発信する。
- ・保護者に保育参加の機会をつくり、保護者自身にも体を動かす楽しさを体感してもらう。
- ・基本的な生活習慣は、家庭と園所の両方で指導することで確実に身に付き、生涯にわたる健康な生活の基礎になることを伝え、協力を図る。
- ・健康な体づくりのための運動や食事、睡眠のリズムを知らせ、家庭でも実践してもらえるように協力を依頼する。
- ・栽培や食事を通して食の大切さを実感できるように、食育に関する情報を発信する。

Ⅲ期 (9・10月)	Ⅳ期 (11・12月)	Ⅴ期 (1・2・3月)
○友達と一緒に活動する楽しさを味わいながら体を動かす経験を広げる	○新しい運動遊具等に興味をもち、運動遊びを楽しむ	○寒いときでも、存分に体を動かして遊ぶ
○ルールやきまりを守って活動する	○ルールを考えたり、守ったりしながら体を動かす遊びを楽しむ	○継続して運動遊びに取り組む
○収穫の喜びを味わい、食べることへの意欲を高める		
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びを楽しめるように、遊具や用具を使って遊ぶ活動を積極的に取り入れる ・全身を活発に動かすことを楽しめるように、指導者や友達とイメージを共有した表現活動を取り入れる ・体を動かす楽しさを味わえるように、ルールのある遊びや競技を取り入れる ・意欲をもって運動遊びに取り組もうとする姿を認める 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを出しながら指導者や友達とルールのある運動遊びを楽しめるようにする ・運動遊びへの意欲が高まるように5歳児の遊びを見たり、真似て一緒に遊んだり、挑戦したりする楽しさが味わえるようにする ・自分なりの目標をもって取り組む様子を認め励ます 	<ul style="list-style-type: none"> ・体が温まる運動遊びを継続して取り入れる ・ボールを蹴る、投げるなどの活動を取り入れ、ボール遊びの楽しさを味わえるようにする ・ルールを守って友達と一緒に楽しむ活動に、積極的に参加していけるようにすすめる
<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さについて知らせ、守ろうとする気持ちをもたせる ・睡眠、食事、排泄、運動の大切さや関係性について知らせる ・気温や体調に合わせて、衣服の調節をすることを知らせる ・衣服の乱れに気付き、自分で整えることが意識できるように、言葉のかけ方を工夫する 		
<ul style="list-style-type: none"> ・かぜ様疾患等、病気の予防のために、手洗い、うがいの大切さを知らせ、丁寧に行うように促す 事例 31 ・よい姿勢を保持する大切さに気付かせるとともに、いろいろな動きができるような活動を取り入れる ・体を十分に動かす中で、休息をとったり水分を補給したりすることの大切さを知らせる ・冬の遊びを楽しめるように、環境を工夫する ・健康で楽しく園所生活が送れるように、積極的に体を動かせる活動や環境を工夫する ・運動用具を大切に扱い、安全に使えるように知らせる ・園所外に出るときは安全や交通ルール、マナーについて知らせ、安全に気を付けて行動できるようにする 		
<ul style="list-style-type: none"> ・食材や調理に興味をもてるように、食べ物の名前や種類、働きを知らせる ・視覚教材等を使って朝食の大切さを知らせる ・健康で丈夫な体づくりにつながるように、バランスよく、好き嫌いをせずに食べる大切さを知らせる ・収穫を楽しみながら、食材の名前を知らせ、食材や調理に興味をもてるようにする ・様々な人の支えを通して、食べ物が自分の健康な体をつくっていることを知らせる 		